

## 皮膚糸状菌症



① 糸状菌症の手足の脱毛



② 典型的な脱毛



③ 小胞糸菌写真

ウサギの皮膚疾患には、ツメダニ、ズツキダニ、耳ダニ、ノミ、接触性皮膚炎、などがありますが、皮膚糸状菌症は円形で痂皮と紅斑(リングワーム)を伴う掻痒性の脱毛を引き起こします。顔面や四肢などの毛繕いをする部位に患部がよく見られます①。

皮膚糸状菌症の原因は皮膚糸状菌で、白癬菌(Trichophyton)、小胞糸菌(Microsporum)の感染による皮膚疾患です。真菌に感染した個体がすべて発症するのではなく、発症要因は、様々な原因による全身性または局所性の免疫力の低下が関与していると考えられます。

真菌培養が最も確実な診断法です。皮膚糸状菌症は自然治癒することもあります。

### 症状

原因の白癬菌や小胞糸菌は他のウサギや人にも感染します。そのため特異的な脱毛を発見したらそのウサギを隔離して子どもたちが触れないようにしてください。真菌症が確定したら抗真菌剤(イトラコナゾールなど)の内服治療で1~2ヶ月の長期間の投薬が必要となります。

### 学校での注意事項

皮膚糸状菌症は、人にも感染する人獣共通感染症であるため、飼育管理には注意が必要です。罹患したウサギがいた環境も汚染されている可能性があるため床が土の場合は太陽熱消毒や生石灰にて広い範囲で消毒しましょう。その点からも床はコンクリートが理想となります。

キーワード：真菌、かゆみ、フケ、脱毛